



PARTYBOX 710



取扱説明書

重要な安全上の注意

全製品向け：

1. 説明書をよく読む。
2. 説明書を大切に保管する。
3. 記載された注意事項を必ず守る。
4. 全ての注意事項に従う。
5. 通気開口部をふさがない。メーカーの説明書に従って機器を設置する。
6. ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブやアンプを含む発熱する他の機器などの熱源の近くにこの機器を設置しない。
7. 極性プラグまたは接地タイププラグの安全目的に違反しない。極性プラグには2つのブレードがあり、片方がもう一方よりも広くなっている。接地タイププラグには2つのブレードがあり、3番目のアースが分岐している。広いブレードまたは3番目のピンは安全のために取り付けられている。付属のプラグがコンセントに適合しない場合は、電気工に相談して旧式のコンセントを交換する。
8. 機器から出ているプラグやコンセント含む電源コードなどの上を歩いたりしないように保護する。
9. メーカーによって指定された付属品のみを使用する。
10. メーカーによって指定された、または機器に同梱されているカート、スタンド、三脚、ブラケットまたはテーブルのみを使用する。転倒による怪我を避けるためにカートに載せて機器を移動する際には注意する。
11. 雷雨の間、または長期間使用しない場合はプラグを抜く。
12. AC電源をこの機器から完全に外すには、AC電源差し込み口から電源コードを引き抜く。
13. 電源コードの主電源プラグはいつでも使用可能な状態にあるものとする。
14. この機器はメーカーによって提供された電源や充電ケーブルのみを使用する。



警告

感電のリスクあり。絶対に開けないでください。



このマークは、人への電気ショックの危険が十分ある、製品エンクロージャー内の絶縁されていない「危険電圧」の存在をユーザーに警告するためのものです。



このマークは、製品に付属している資料内にある、重要な操作およびメンテナンス（修理）上の指示の存在をユーザーに警告するためのものです。

警告：火災または感電のリスクを減らすため、この機器を雨または湿気に当てないこと。

ユーザー向けFCC警告およびICステートメント（米国およびカナダのみ）

このデバイスはFCCルールのパート15に準拠しています。操作は以下の2つの条件に従うものとします：(1) このデバイスは有害な干渉を引き起こしてはならない、および(2) このデバイ

スは好ましくない操作を引き起こす可能性がある干渉を含めて、受信した干渉を受け入れる必要がある。

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

米連邦通信委員会の干渉に関するステートメント

この機器はFCCルールのパート15に基づいて、クラスBデジタルデバイスのリミットに適合するように試験され、適合することが確認されています。このリミットは、住宅での設置において有害な干渉から適切に保護するために設定されています。この機器を製造し、使用すると無線周波数エネルギーを放出する可能性があり、説明書に従って設置、使用しない場合は無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。しかし、特殊な設置状況においては、干渉が生じないという保証はありません。この機器がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす（機器の電源をつけたり消したりすれば確認できます）場合、以下の1つまたは2つ以上の方法により、ユーザーが干渉の排除を試行することを推奨します。

- 受信アンテナの向きや位置を変える。
- 機器とレシーバー間の距離を空ける。
- レシーバーが接続されている回路とは異なる回路上のコンセントに機器を接続する。
- 販売店または熟練したラジオ/TV技術者に相談する。

警告：HARMANが明確に認めていない改変や改造を行うと、ユーザーのこの機器の操作権限が無効になることがあります。

RFエネルギーを送信する製品向け

ユーザー向けのFCCおよびIC情報

このデバイスはFCCルールのパート15、およびカナダ産業省のライセンス免除RSS基準に準拠しています。操作は以下の2つの条件に従うものとします：(1) このデバイスは有害な干渉を生じてはならない。(2) このデバイスは望まない操作を引き起こす可能性がある干渉を含めて、受信した干渉を受け入れる必要がある。

FCC/ICの放射線被曝ステートメント

この機器は、制御されていない環境において規定されたFCC/IC RSS-102の放射線被曝限度に準拠しています。

FCC警告：

高出力レーダーは5.25-5.35 GHzおよび5.65-5.85 GHz帯のプライマリユーザーとして割り当てられます。これらのレーダー局はこのデバイスに干渉し、損傷を与える可能性があります。このワイヤレス機器は設定制御を備えていないので、FCCルールのパート15.407に従った米国での動作向けの、FCCが許諾していない動作周波数の変更はできません。

IC警告：

ユーザーは次のアドバイスを受ける必要もあります：

- (i) 5150-5250MHz帯で動作する本デバイスは、同一チャネルのモバイル衛星システムへの有害な干渉の可能性を減らすため、屋内でのみ使用できます。
- (ii) デバイス向けに認められた5250-5350MHzおよび5470-5725MHz帯の最大アンテナゲインは等価等方放射電力リミットに準拠するものとします：および
- (iii) 5725-5825MHz帯のデバイスに認められた最大アンテナゲ

インは等価等方放射電力に準拠するものとします。ポイントツーポイントおよび非ポイントツーポイント動作を適切として指定されたリミット。(iv) また、ユーザーは5250-5350MHzおよび5650-5850MHz帯の主要なユーザー（優先ユーザー）として高出力レーダーを割り当てられ、これらのレーダーがLE-LANデバイスに干渉したり、損傷を生じさせる可能性があるというアドバースを受ける必要があります。

人体のRFフィールド（RSS-102）への被曝

コンピューターは一般住民に対するカナダ保健省のリミットを超えるRFフィールドを発生しない低ゲインの統合アンテナを採用しています。カナダ保健省のウェブサイト<http://www.hc-sc.gc.ca/>で読むことができる安全規則6を参照してください。

ワイヤレスアダプターに接続されたアンテナから放射されるエネルギーはICRSS-102、5号4項に関するRFの被曝要件のICリミットに従っています。SARテストは、人体から最も離れたデバイスから発せられる、FCC/RSSによって認められた推奨動作位置を用いて行われます。上記の制限を順守していない場合は、FCC RF被曝ガイドラインに違反している可能性があります。

使用制限：フランスでの注意事項、操作は5150-5350MHz帯内の屋内での使用に限られています。

外部アンテナを使用できるラジオレシーバー付きの製品用（米国のみ）

CATV（ケーブルTV）またはアンテナのアース

屋外のアンテナまたはケーブルシステムがこの製品に接続されている場合、電圧の上昇や静電荷に対して安全であるようにアースされていることをお確かめください。米国電気工事規定（NEC）のセクション810、ANSI/NFPA No. 700-1984はアンテナ塔と支持構造の適切なアース、アンテナ放電ユニットへの引き込み線のアース、アース導体、アンテナ放電ユニットの位置、接地極への接続と電極の必要性に関する情報を提供します。

CATVシステム設置者への注意

この覚書は、NEC（米国電気工事規定）の条項820-40にCATV（ケーブルTV）システム設置者の注意を喚起するために提供されています。この条項は適切なアースのガイドラインを定め、特にケーブルの位置が、できるだけケーブルの導入口の地点に近くになるように規定しています。

全EU諸国向け

オーディオ出力を備えた製品用

難聴の予防



警告：長期間大音量でイヤホンまたはヘッドホンを使用した場合、回復不能の難聴になることがあります。

この製品はフランス向けに、NFEN50332L.5232-1に該当して制定された音圧レベル要件に準拠するようにテストされています。

注意：

– 難聴を防ぐため、長期間大音量で音楽を聴かないでください。

WEEE警告

2014年2月14日にEU法として施行されたWEEE指令（The Directive on Waste Electrical Equipment）は使用が終了した電子機器の取り扱いに大きな変化をもたらしました。

この指令の最優先目的は、電子機器の廃棄を回避することです。次に、廃棄物を減らすために廃棄物の再利用、リサイクル、その他の形式の回収を促すことです。

製品や箱に掲載されている、電気・電子機器の回収を意味するWEEE指令のロゴは、下の図のように車輪にバツ印の付いたゴミ箱でできています。



この製品は絶対に他の家庭ごみと一緒に処分や廃棄をしてはいけません。電気・電子機器は必ず、危険廃棄物のリサイクル用の指定された回収場所で処分する責任があります。廃棄時に電子および電気廃棄物機器を個別に収集して適切に回収することで、天然資源の保護に役立てることができます。さらに、適切なリサイクルと回収場所については、お住いの地域の行政、家庭ごみ処理サービス、機器を購入した店またはメーカーに問い合わせてください。

RoHSコンプライアンス

この製品は、電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する2011年6月8日の欧州議会及び理事会指令（2011/65/EU）に準拠しています。

ワイヤレス操作する製品を除く全製品について

HARMAN Internationalは、この機器がEMC 2014/30/EU指令、LVD 2014/35/EU指令に従っていることをここに宣言します。法令順守宣言は、www.jbl.comからアクセス可能な当社のウェブサイトのサポートセクションで閲覧することができます。

ワイヤレス操作を行う全製品について

HARMAN Internationalはこの機器が2014/53/EU指令の必須条件および他の関連条項を順守していることをここに宣言します。法令順守宣言は、www.jbl.comからアクセス可能な当社のウェブサイトのサポートセクションで閲覧することができます。

てんかん 警告

人により、点滅する光を見ててんかんの発作を起こすことがあります。

目次

重要な安全上の注意	2	9. 仕様	14
1. はじめに	5	10. トラブルシューティング	14
2. 同梱品	5	11. 法令順守	15
3. 製品の概要	6	12. 商標	15
3.1 トップパネル	6		
3.2 背面パネル	6		
4. 設置	7		
5. 電源オン	8		
6. PARTYBOXを使う	8		
6.1 BLUETOOTH接続	8		
6.2 USB接続	9		
6.3 曲のコントロール	9		
6.4 AUX接続	10		
6.5 マイクおよび/またはギターとのサウンドのミキシング	10		
6.6 モバイルデバイスを充電する	11		
7. PARTYBOXを持ち運ぶ	11		
8. その他の使用方法	12		
8.1 ライトエフェクト	12		
8.2 サウンドエフェクト	12		
8.3 TWSモード	12		
8.4 JBL PARTYBOXアプリ	12		
8.5 デイジーチェーン接続	13		
8.6 工場出荷時設定へのリセット	13		
8.7 IPX4	13		

1. はじめに

お買い上げいただきありがとうございます。この説明書にはPartyBox 710スピーカーの情報が記載されています。製品の説明とご使用のための設定手順が記載されていますのでご確認ください。製品をご使用になる前に安全上の注意を全てお読みの上ご確認ください。

この製品、その設置または操作について何かご質問がありましたら、小売店もしくはカスタマーサービスにご連絡いただくか、または当社のウェブサイト、www.jbl.comにアクセスしてください。

2. 同梱品



①



②



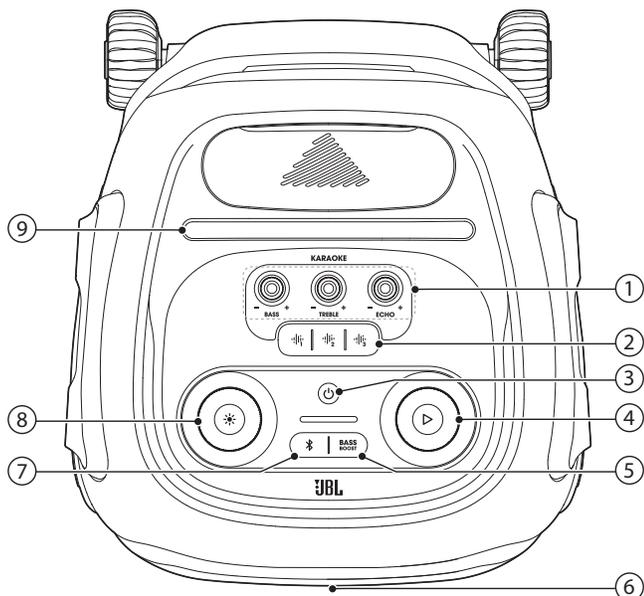
③

- 1) 本体
- 2) 電源コード*
- 3) クイックスタートガイド、安全シート、保証書

*電源コードの本数とプラグタイプは地域によって異なります。

3. 製品の概要

3.1 トップパネル



1) KARAOKEのコントロール (マイク入力用のみ)

- BASS +

- 低音レベルを調節します。

- TREBLE +

- 高音レベルを調節します。

- ECHO +

- エコーレベルを調節します。

2) 🎵 | 🎵 | 🎵

- ホーン、クラッピング、スクラッチのようなスペシャルサウンドエフェクトを選択できます。

3) ⏻

- 電源をオンまたはオフにします。

4) ▶

- 再生、一時停止または再開。
- 時計回り/反時計回りに回して/メインボリュームの音量を増減する。

5) **BASS BOOST**

- 低音レベルを上げます：レベル1、レベル2、またはオフ。

6) LEDリング

7) ✳

- Bluetoothペアリングモードに入ります。
- 10秒以上長押しすると、全てのペアリングされたデバイスを消去します。

8) ✳

- ライトエフェクトをオンまたはオフにします。
- 2秒以上長押しすると、ストロボライトがオンまたはオフになります。
- 時計回り/反時計回りに回して異なるライトパターンに切り替えます。

9) モバイルデバーストック

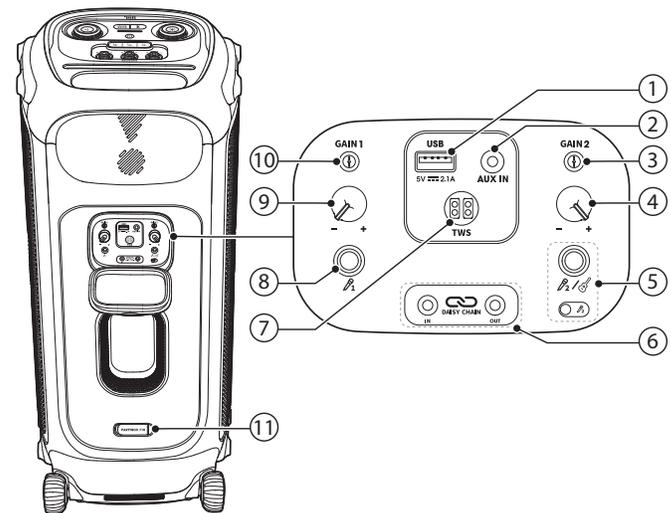
警告：

- スピーカーのライトが点灯した時に、発光部を直接見ないでください。

LEDの状態

⏻	○ 白色で点灯	電源オン
	● アンバー色で点灯	スタンバイ
	● オフ	電源オフ
✳	☀ 白色で素早く点滅	ペアリング
	○ 白色(点灯)	接続済み
	● オフ	未接続
BASS BOOST	○ 白色で点灯	レベル1 レベル2
	● オフ	オフ

3.2 背面パネル



1) USB

- USBストレージデバイスに接続します。
- モバイルデバイスを充電します。

2) AUX IN

- 3.5mmオーディオケーブル (別売) を使って外部オーディオデバイスに接続します。

3) GAIN 2

- 該当するマイク (🎤) 、またはギター入力のゲインを調節します。

- 4) **マイク/ギターの音量つまみ (M/G用)**
 - 該当するマイク (M) またはギター (接続されている場合) の音量を調節します。
- 5) **M/G**
 - マイクまたはギターに接続します。
- 6) ** IN/OUT**
 - 3.5mmオーディオケーブル (別売) を使って複数のPartyBoxスピーカーを接続します。
- 7) **TWS**
 - ツールワイヤレスステレオ (TWS) ペアリングモードに入ります。
- 8) **M1**
 - マイクに接続します。
- 9) **マイクの音量つまみ (M1用)**
 - 該当するマイク (M1) (接続されている場合) の音量を調節します。
- 10) **GAIN 1**
 - 該当するマイク (M1) 入力のゲインを調節します。
- 11) **AC**
 - AC電源に接続します。

4. 設置

警告:

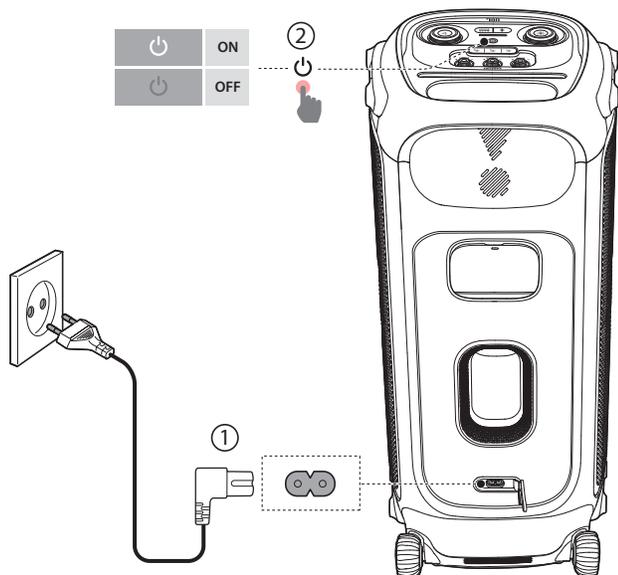
- 転倒したり、破損のリスクを避けるため、スピーカーの上に座ったり、スピーカーにもたれたり、側面を押ししたりしないでください。

スピーカーを平らな安定した面に置き、ゴム足の付いた面が下になっていることを確認してください。

5. 電源オン

警告：

- 付属の電源コード以外は使用しないでください。



1. AC電源に接続。
2. 電源ボタンを押して電源を入れます。

ヒント：

- 20分間操作をしないと、スピーカーは自動的にスタンバイモードに切り替わります。スピーカーの電源ボタンを押すと、通常の操作に切り替わります。

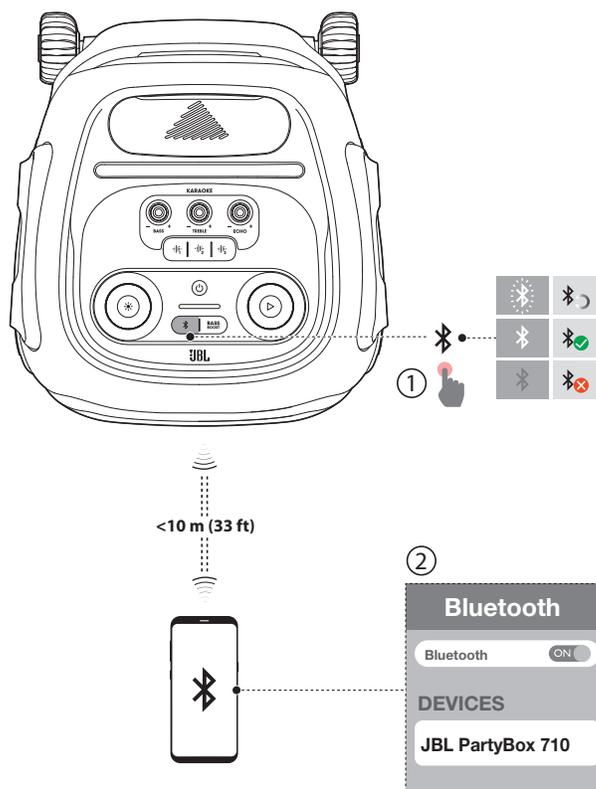
6. PARTYBOXを使う

注：

- 1度に再生できる音源は1つだけです。その優先順位はUSB -> BLUETOOTH -> AUXの順です。
- 優先順位の高いソースで開始すると、優先順位の低いソースは常に遮断されます。
- 優先順位の低いソースで始めるには、まず優先順位の高いソースをストップさせてください。

6.1 Bluetooth接続

Bluetooth対応のスマートホンまたはタブレットと使用することができます。



1. Bluetoothペアリングモードに入るには、スピーカーのBluetoothボタンを押します。
2. Bluetooth対応デバイスの「JBL PartyBox 710」を選択して接続します。
3. 接続に成功すると、Bluetooth対応デバイスからこのスピーカーにオーディオがストリーミングされます。

注：

- このスピーカーには、最大で8台のデバイスを記憶させることができます。9台目のデバイスをペアリングすると、最初のデバイスが消去されます。
- Bluetooth対応デバイスに接続する際にPINコードを要求された場合は、「0000」と入力してください。
- Bluetoothのパフォーマンスは、この製品とBluetooth対応デバイス間の距離、および操作環境に影響される可能性があります。

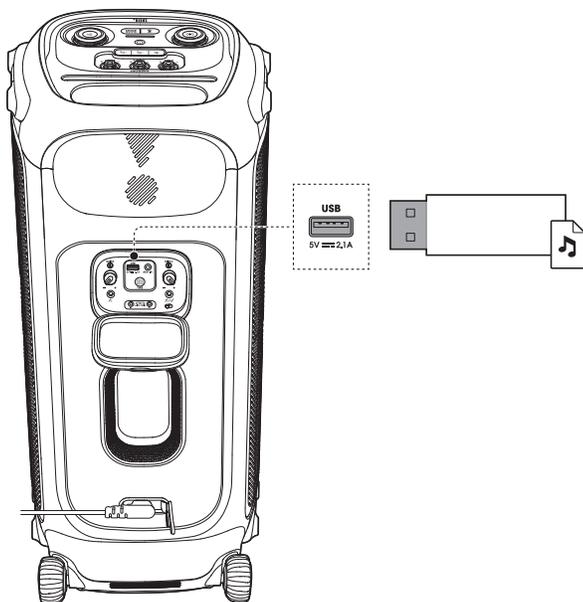
Bluetooth対応デバイスの接続を解除するには：

- スピーカーの電源をオフにするか、または
- お持ちのデバイスのBluetooth機能を無効にします。

Bluetooth対応デバイスを再接続するには：

- 次回電源を入れる時は、自動的に、最後に接続したデバイスへ再接続を試みます。
- そうならない場合は、Bluetooth対応デバイスで「JBL PartyBox 710」を手動で選択し、接続します。

6.2 USB接続



USBポートに、再生可能なオーディオコンテンツが入っているUSBストレージデバイスを差し込んでください。

- 自動でUSBソースに切り替わります。
- 自動的にオーディオ再生が開始されます。

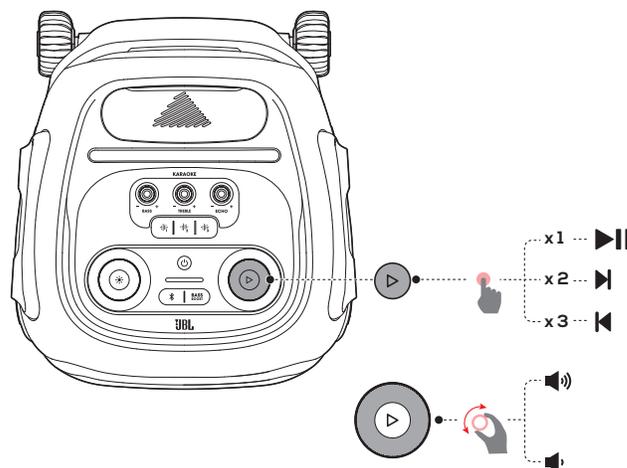
ヒント：

- アルファベット順にルートフォルダーから最終レベルのサブフォルダーまで、USBストレージデバイスのオーディオファイルを再生します。最高8階層のサブフォルダーに対応しています。

対応するオーディオフォーマット

拡張子	コーデック	サンプリング・レート	ビットレート
WAVE	PCM	8 / 11.025 / 12 / 16 / 22.05 / 24 / 32 / 44.1 / 48	384 / 529.2 / 576 / 768 / 1058.4 / 1152 / 1536 / 2116.8 / 2304
MP3	MPEG1 レイヤー2/3	32 / 44.1 / 48	32 / 40 / 48 / 56 / 64 / 80 / 96 / 112 / 128 / 160 / 192 / 224 / 256 / 320
	MPEG2 レイヤー2/3	16 / 22.05 / 24	8 / 16 / 24 / 32 / 40 / 48 / 56 / 64 / 80 / 96 / 112 / 128 / 144 / 160
	MPEG2.5 レイヤー3	8 / 11.025 / 12	8 / 16 / 24 / 32 / 40 / 48 / 56 / 64 / 80 / 96 / 112 / 128 / 144 / 160
WMA		8 / 11.025 / 16 / 22.05 / 32 / 44.1 / 48	5 / 6 / 8 / 10 / 12 / 16 / 20 / 22 / 32 / 36 / 40 / 44 / 48 / 64 / 80 / 96 / 128 / 160 / 192 / 256 / 320

6.3 曲のコントロール

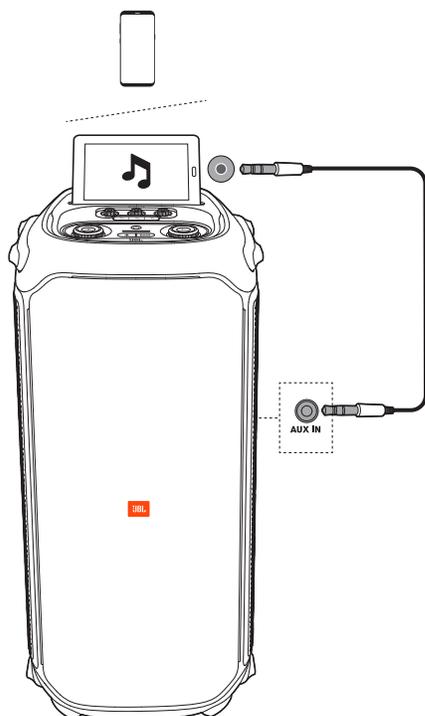


- 再生を一時停止、または再開するには1回▶▶ ボタンを押してください。
- ▶▶ ボタンを2回押すと、次のトラックへスキップします。
- ▶▶ ボタンを3回押すと、前のトラックへ戻ります。
- 音量つまみを時計回りまたは反時計回りに回してメインボリュームを増減させます。
- **BASS BOOST**を押して低音レベルを上げます：レベル1、レベル2、またはオフ。

注：

- スキップ操作はAUXモードでは使用できません。

6.4 AUX接続



1. 3.5mmオーディオケーブル（別売）を使ってスピーカーに外部オーディオデバイスを接続します。
2. その他のソースからの再生を停止した後、外部デバイスからのオーディオ再生を開始します。

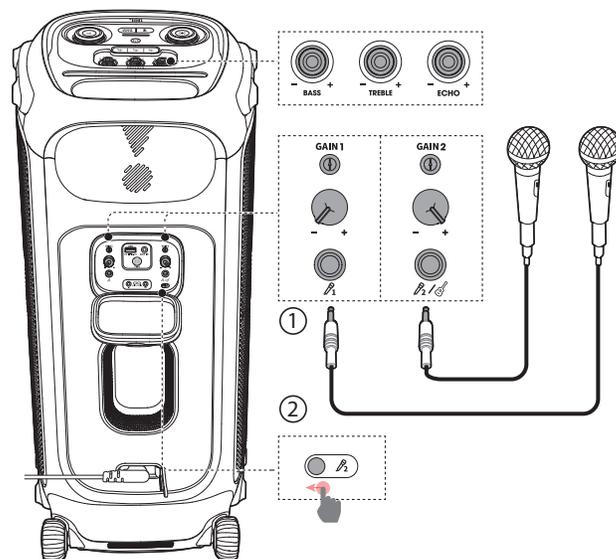
6.5 マイクおよび/またはギターとのサウンドのミキシング

マイクまたはエレキギター（別売）を使用すれば、オーディオソースにサウンドをミックスすることができます。

注：

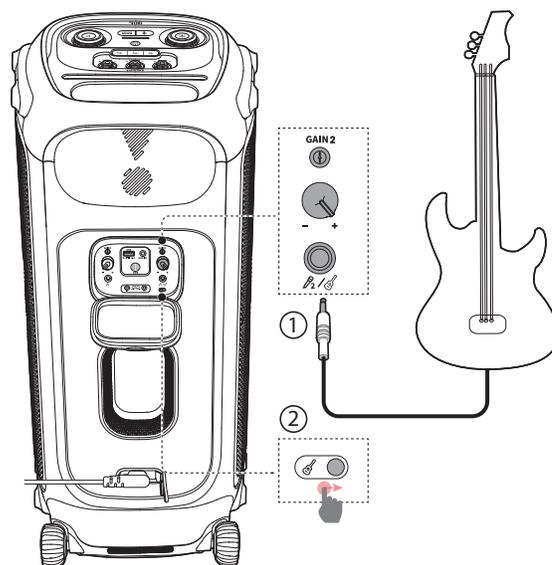
- ギターまたはマイクの接続/接続解除を行う前は、必ずギターまたはマイク音量を最低レベルにセットしてください。
- ギターまたはマイクを使用していない場合は、必ずギターまたはマイクの接続を解除してください。

6.5.1 マイクに接続



1. μ または μ ソケットにマイクを接続します。
2. μ ソケットにマイクを接続する場合は、スライダーを切り替えて μ を表示させてください。

6.5.2 ギターに接続



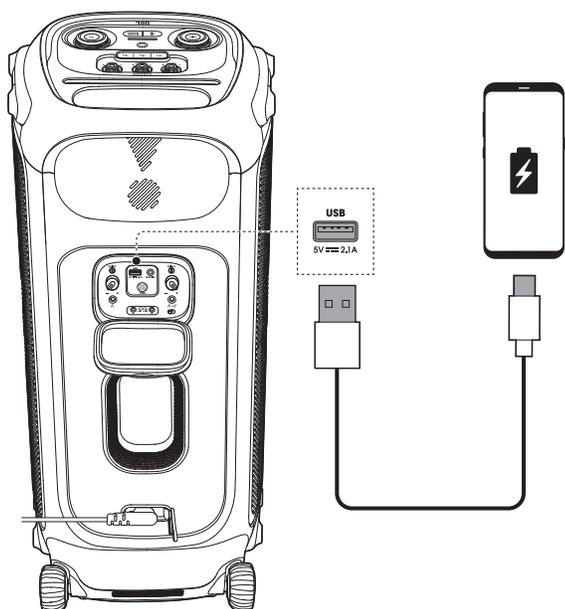
1. μ ソケットにギターを接続します。
2. スライダーを切り替えて μ を表示させてください。

6.5.3 サウンドのミキシング

マイクを通して歌うか、ギターを演奏します。

- 音源の音量を調節するには、音量つまみを時計回りまたは反時計回りに回してください。
- マイクまたはギターの音量を調節するには、該当するマイクまたはギターの音量つまみを回します。
- 有線マイクまたはギターのゲインを調節するには、該当する **GAIN 1** または **GAIN 2** のコントロールをそれぞれ回します。
- マイクのエコー、高音、低音レベルを調節するには、**ECHO**、**TREBLE**、**BASS** のそれぞれのつまみを回します。

6.6 モバイルデバイスを充電する



7. PARTYBOXを持ち運ぶ

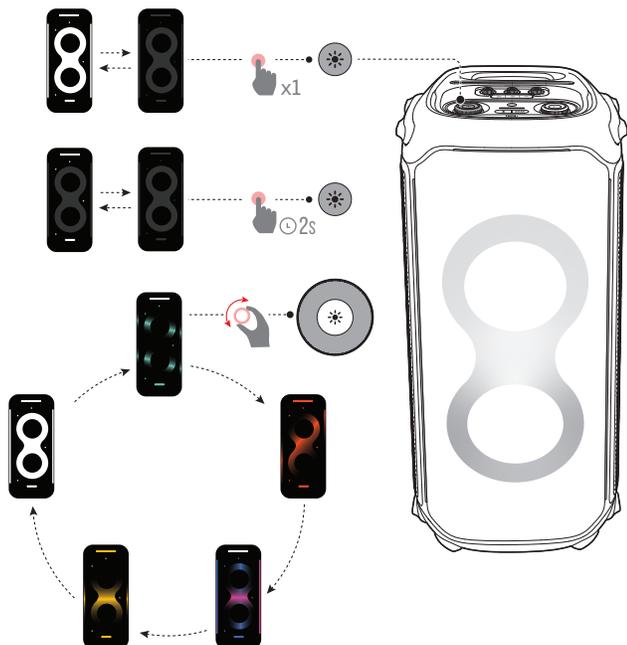
警告：

- スピーカーを持ち運ぶ前に、全てのコードが外されていることをご確認ください。
- 怪我をしたり製品が破損しないように、持ち運ぶ際はかりと持ってください。

PartyBox 710は簡単に持ち運べるように取っ手が付いています。

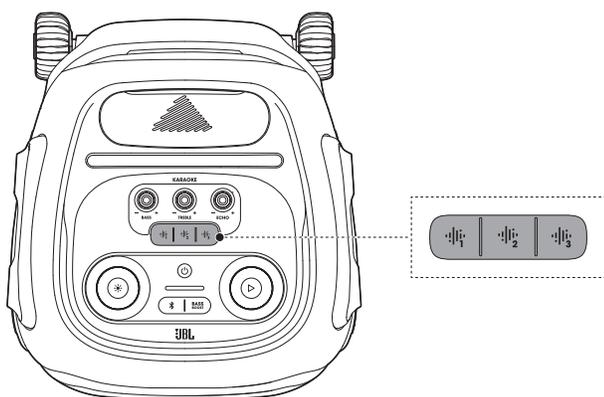
8. その他の使用方法

8.1 ライトエフェクト



- ☆を押してライトエフェクトをオンまたはオフにします。
- ☆を2秒以上長押しすると、ストロボライトがオンまたはオフになります。
- つまみを時計回り/反時計回りに回して異なるライトパターンに切り替えます：ロック、フロー、クロス、リップル、またはフラッシュ。

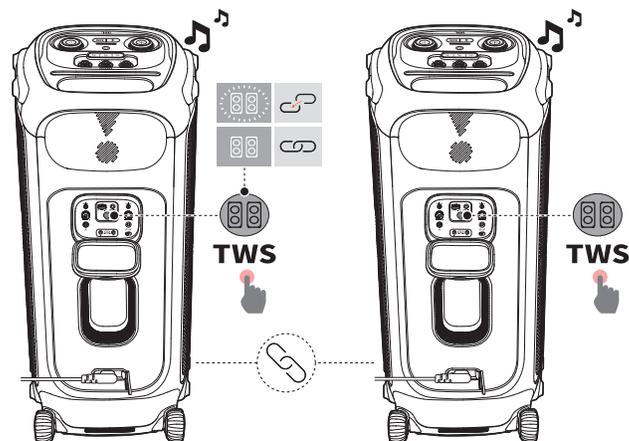
8.2 サウンドエフェクト



📢 | 🖐️ | 🖐️ ボタンを押すと、ホーン、クラッピング、スクラッチのようなスペシャルサウンドエフェクトを選択できます。

8.3 TWSモード

TWSモードを使って2台のPartyBoxスピーカーを互いに接続させることができます。



両方のスピーカーのTWSボタンを押します。

TWSモードを終了するには：

電源をオフにするか、どちらかのスピーカーのTWSボタンを押します。

ヒント：

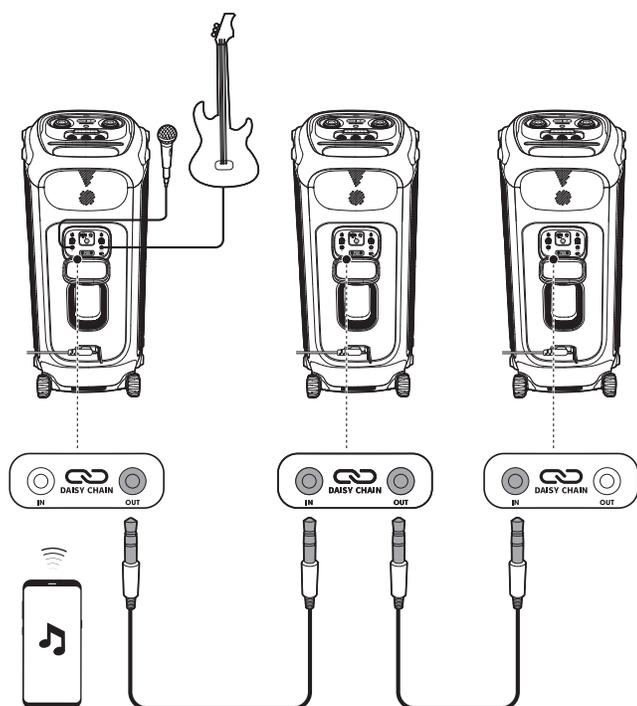
- 初期設定では、Bluetooth対応デバイスに接続されたスピーカーがプライマリースピーカー（左チャンネル）として動作し、もう1台がセカンダリースピーカー（右チャンネル）として動作します。

8.4 JBL PartyBoxアプリ



製品をもっと使いこなすためには、JBL PartyBoxアプリをダウンロードしてインストールしてください。

8.5 デイジーチェーン接続



8.6 工場出荷時設定へのリセット

製品の工場出荷時へのリセットを行うには、**※**と**▶**ボタンを10秒以上長押ししてください。

8.7 IPX4

警告：

- AC電源に接続する前は、ポートを乾いた状態にしておいてください。
- 防沫のために常に保護カバーをしっかりと閉めておいてください。

スピーカーはIPX4防沫仕様です。



9. 仕様

スピーカー構成：	2x216mmウーファー、 2x70mmツイーター
出力：	800W RMS (IEC60268)
電源入力：	100-240VAC ~50/60Hz
周波数特性：	35Hz-20kHz (-6dB)
S/N比：	80dB超
ケーブルタイプ：	適正な角度のAC電源ケーブル (タイプは地域によって異なります)
ケーブル長さ：	2.0m
USB充電出力：	5 V/2.1A (最大)
USBフォーマット：	FAT16、FAT32
Bluetooth®バージョン：	5.1
Bluetooth®プロファイル：	A2DP V1.3、AVRCP V1.6
Bluetooth®対応トランスミッター周波数帯域：	2400MHz-2483.5MHz
Bluetooth®対応トランスミッター出力：	11dBm以下 (EIRP)
Bluetooth®対応トランスミッター変調：	GFSK、 $\pi/4$ DQPSK、8DPSK
対応するフォーマット：	.mp3、.wma、.wav
Aux入力：	250mVrms (3.5mmコネクタ)
マイク入力：	20mVrms
ギター入力：	100mVrms
Bluetooth/USB入力：	-12dBFS
製品寸法 (幅x高さx奥行)：	399mmx905mmx436mm
製品重量：	約27.8kg
外装寸法 (幅x高さx奥行)：	1048mmx505mmx467mm
総重量：	約31kg

10. トラブルシューティング

警告：

- 絶対に、ご自身でこの製品を修理しようとししないでください。この製品の使用中に問題がある場合は、サービスを依頼する前に以下の点をチェックしてください。

システム

スピーカーの電源が入らない。

- AC電源の接続をチェックしてください。

一部のボタンが反応しない

- 製品がデモモードになっている可能性があります。デモモードでは、▶/※/BOOSTおよび音量とライトパターンつまみ以外の全てのソースとボタンが無効になります。終了するには、▶とBOOSTボタンを同時に5秒以上長押ししてください。

サウンド

スピーカーから音が聞こえません。

- スピーカーの電源が入っていることをご確認ください。
- 音量を調節してください。
- 音源がアクティブでミュート状態でないことをご確認ください。

Bluetooth

デバイスをスピーカーに接続できません。

- デバイスのBluetooth機能が有効であることをご確認ください。
- すでにスピーカーが別のBluetooth対応デバイスに接続されています。スピーカーの※ボタンを20秒以上長押しして接続を解除し、新しいデバイスとペアリングしてください。

接続したBluetooth対応デバイスからのオーディオ品質が良くない。

- Bluetoothの受信状態が悪い可能性があります。デバイスをスピーカーにもっと近づけるか、デバイスとスピーカーの間に何も置かないようにしてください。

11. 法令順守

この製品は欧州連合エネルギー基準を順守しています。

Bluetooth接続モード

この製品はBluetooth接続経由で音楽をストリーミングして使用することを想定しています。お客様はスピーカーにBluetoothオーディオをストリームすることができます。この製品をBluetooth接続する場合、確実に適切な動作をするように、Bluetooth接続は常にアクティブなままでなければなりません。この製品は操作しないまま20分経つと、スリープモード（ネットワークスタンバイ状態）に入ります。スリープモードの電力消費量は2.0W未満で、その後Bluetooth接続を通して再度電源をオンにすることができます。

Bluetooth接続解除モード

この製品は操作しないまま20分経つと、スタンバイモードに入ります。スタンバイモードの電力消費量は0.5W未満です。

12. 商標



The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by HARMAN International Industries, Incorporated is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.



Made for iPhone 12 Pro Max, iPhone 12 Pro, iPhone 12, iPhone 12 mini, iPhone SE (2nd generation), iPhone 11 Pro Max, iPhone 11 Pro, iPhone 11, iPhone XS Max, iPhone XS, iPhone XR, iPhone X, iPhone 8 Plus, iPhone 8, iPhone 7 Plus, iPhone 7, iPhone SE, iPhone 6s Plus, and iPhone 6s.

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

Apple, and iPhone are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.



HARMAN International Industries,
Incorporated 8500 Balboa Boulevard,
Northridge, CA 91329 USA
www.jbl.com

© 2022 HARMAN International Industries, Incorporated. All rights reserved.
JBLは、HARMAN International Industries, Incorporatedの、米国および/またはその他の国々の
商標です。特徴、仕様および外観は、予告なしに変更されることがあります。